

## コース 12

## ゆめみだいら なえなだき 夢見平と苗名滝

リーダー CL K.S. SL N.M.

実施日 令和5年6月7日(水)

天候 晴れ

グレード A

参加者 23人(男性5 女性18)

コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:55	1名のキャンセルあり合計23名にて出発
妙高高原IC	8:25		高速北陸道・上信越道
乙見湖休憩舎	9:00	9:20	身支度 準備運動
夢見平湿原	10:30	10:40	湿原にてミズバショウを前に?集合写真
六美展望台	11:10	11:45	展望台広場にて昼食タイム
乙見湖休憩舎	13:10	13:30	休憩舎の職員から見送られ出発
苗名滝	14:00	15:05	落差55mの瀑布の前で集合写真
妙高高原IC	15:15		一路新津へGo~
秋葉区役所前	17:35	17:45	予定より約1時間早く到着

### 山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 天気予報は雨曇りであったが、空には雲が若干残っている程度で雨の心配無し。☀
- ・ 総勢23名にてほぼ満席のバスで出発!! 妙高目指し快適なドライブ。♪~♪
- ・ 北陸道・上信越道を経由し笹ヶ峰高原へと、徐々に高度を上げカーブの坂道を快適に走る。
- ・ 車窓からブナ、白樺の新緑、草原には放牧牛、遠くは緑と白銀の峰々と高原の景色へ。
- ・ 予定通り乙見湖休憩舎に到着する、乙見湖に架かる笹ヶ峰ダムを渡りいざ夢見平へ出発。
- ・ 笹ヶ峰ダム橋梁では、招かざる「爬虫類」のお迎えを受け怖いやら観たいやらで、みんなのテンションが一気に上がる



- 草花の開花が例年より2・3週間早い情報の通り、残念ながら早春の花々の見頃は過ぎていた。参加者からは “キレイね！すごいね！あっちにも、ここにも” との声に安堵する。
- 本命の夢見平湿原へ到着、思ったとおり葉だけのミスバショウ群生！集合写真を撮り慰めを。
- 六美展望台でお昼弁当タイム、展望台から望む山々、妙高、火打山、焼山は何処どことワイワイ話が弾む中、時折吹き抜ける涼しい風、鳥の鳴き声など別世界！！
- 周回コースも終盤、笹ヶ峰ダム近くからの眺望、乙見湖越しに残雪の残る焼山・火打山の眺めは風景画のように美しく、しばし堪能する。（シャッターチャンス）
- 乙見湖休憩舎に戻り、身なりを整え次の目的地「苗名滝」を目指しバスに乗車。
- 日本の滝百選、真近で観る落差55mの壮大な瀑布は圧巻であった。（マイナスイオンを全身に浴びる）
- この度は、長時間に渡る山行でしたが、天候にも恵まれ高原での花々、森林浴、壮大な名瀑など大自然を真近に感じ、心身ともリフレッシュできた一日でありました。
- 全員、事故・離脱者もなく山行を終えることができました。SL、班長、会計さんを始め、参加していただきました皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。また、私の初CLとしての山行、何よりも皆さんの“笑顔”が一番の喜びであり、太陽よりも大きく輝いてくれました。



## 「夢見平と苗名滝」に参加して

1798 I.R.

2023年6月7日(水)集合時間午前6時、さわやかなハイキング日和、早朝にもかかわらず、皆さんの期待の高さか、少し早めの出発となる。

車中にて幹事さんより、「夢見平遊歩道は昔、木を切り出し運ぶために作られたトロッコ道を遊歩道として整備された高原のセラピーロードである」との説明。そして下見行の際にもらったと季節ごとに咲く花の名前が記された、可愛らしいパンフレットが参加者に配られた。どんな花が咲いているかとワクワクしてくる。

予定より30分ほど早く、乙見湖休憩舎Pに到着。暑くも寒くもない爽やかな天候。





笹ヶ峰ダムを渡り始めたとき、先行の皆さんが立ち止まり、ザワついていました。蛇が欄干に絡まり日向ぼっこをしていたためだ。きっと、私たちを出迎えてくれたのだろう。

本日最大の難所?とお話しのあった100段ほどの急な階段を登り切り、ダム湖の絶景を見ながらひと息つく。

いよいよ遊歩道の始まり。本漏れ日と降りしきるような春ゼミの声の中、緩やかな登り道を歩き始める。早速、「ラショウモンカズラ」赤花の「クリンソウ」に出会う。蓑の池では、サンショウウオの卵が水中に沢山あり驚く。



稲荷神社では、「神彦」「道姫」と呼ばれているミズナラの大木を思わず見上げてしまった。

「ヤグルマソウ」の葉や花後の「クリンソウ」を目で追いつつ歩く。



夢見平湿原の視界の開けたところで休憩。



道中「ユキササ」「エンレイソウ」「ツクバネソウ」「クルマバハグマ」など、沢山の植物の名前を教えてください、忘れぬよう復唱しながら歩く。

11時10分、六美展望台到着、妙高の山々を眺めながら昼食。座った足元の先にある落ち葉を見ると、隠れて咲く「イワカガミ」。少し得した気分。

帰りは分岐点から、白樺通りへと進む。「ツマトリソウ」の花や沢山の「コシノカンアオイ」の葉の中に、ひとつだけ花が咲いているのを見つけた。どちらも初めてで感激。





白樺と熊笹の見通しの良い道を進み、花の咲く「ズミトンネル」をくぐり抜ける。

小鳥の道を通り、出発地点の階段の上に着く。とても急なため、滑り落ちぬよう慎重に降りハイキングを終える。

コース全体を通して言えることは、広葉樹の落ち葉やウッドチップが敷かれ、とてもよく整備され歩きやすかった印象です。



次の目的地苗名滝へとバスで移動。

駐車場からスニーカーでも歩ける出道とつり橋を渡り15分程で到着。

水量の多さに圧倒されると同時にマイナスイオンをたっぷり浴びた。美肌にも効果ありやしや。

駐車場にあるカフェの前にて、満開の「春のシュウメイギク」に会う。



予定より早めに出発し、無事秋葉区役所前に到着。

初めて見る花のことを、その都度教えていただきありがとうございました。たくさんの花々と思い出に残る素晴らしい一日。

お世話になりました皆様に感謝申し上げます。

また、ご一緒させていただける日を楽しみにしております。

